

ケーブルテスター 使用方法紹介



【従来点検方法】

- ・ 40極であれば、片側40カ所に差し込む必要がある
 - ↳ 計80カ所への差込み作業
- ・ 基本的に導通があるかないかのみの確認
 - ↳ 短絡(ショート)の確認はできない

【新型ケーブルテスター】

・ 導通点検手順

- ①ケーブルを2カ所差し込む
- ②電源スイッチをON



40極

25極

電源スイッチ



【導通確認】



※2箇所(14&27)が断線

不良箇所が同時に見ることができる



← 全点灯 問題なし!!

※ケーブルを手でこする事により、ランプの点滅等で断線しかけていることも分かる

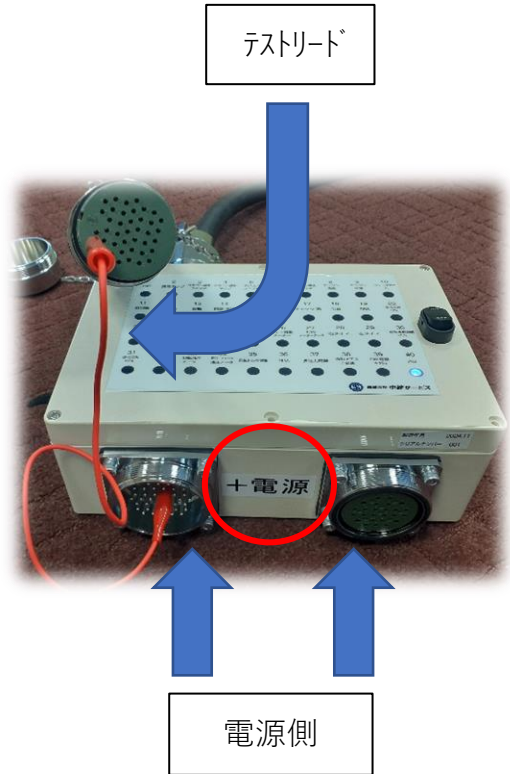
【新型ケーブルテスター】

・ 短絡点検手順

- ①電源側のみケーブルを差し込む
- ②付属のテストリードでテスター未接続同士を繋ぐ
- ③電源スイッチをON
- ④テストリードのCT側をNo.1~40まで差し替えて点灯確認

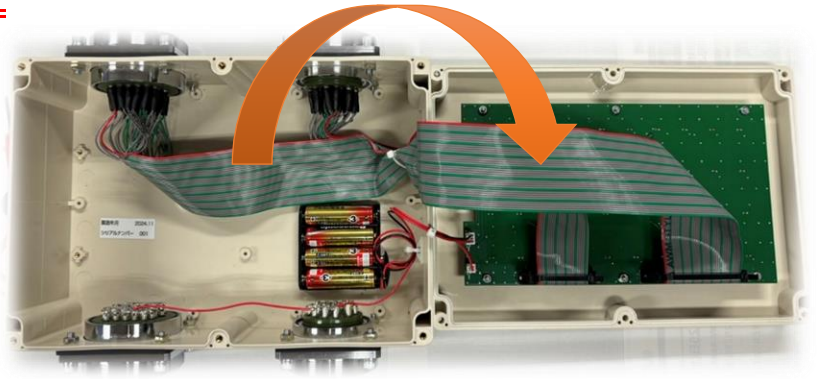


※No.1点検時にNo.1とNo.5が点灯
No.1とNo.5でショートしている



【電源について】

・ 単三電池 x ④本使用



●蓋は横方向へ開ききることが可能

【シリアルでの管理】

- ・ 全数シリアルナンバーを付与
- ・ 内、外それぞれに記載
- ・ 製造年月や、いつお客様へ渡したのかをこちらで把握

